

| | | | | |
|--------|-----|--------------|---------|-------|
| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
| 日本事情 I | | 日本語学科1.5年/1年 | 2019/通年 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 50分 | 20回 | 0単位(20時間) | 必須 | 田中 敦子 |

授業の概要

本科目では、日本で生活する上で必要となるルールや習慣について、動画やイラスト、読み物を使いながら、理解を深める。

授業終了時の到達目標

留学生活において、戸惑うことなく生活できるよう、基本的なルールや習慣について身に付ける。

| 回 | テーマ | 内容 |
|----|-------------|------------------|
| 1 | 高松について1 | 周辺施設の利用方法 |
| 2 | 高松について2 | 住所を覚える |
| 3 | 日本の家に住む1 | 寮の使用方法 騒音について |
| 4 | 日本の家に住む2 | ゴミの収集方法 |
| 5 | 日本での生活について1 | 日本での滞在や在留カードについて |
| 6 | 日本での生活について2 | 日本の法律について |
| 7 | 自転車の乗り方 | 自転車の乗り方 |
| 8 | 日本語の学習について1 | 学校でのルール |
| 9 | 日本語の学習について2 | 卒業後の進路 |
| 10 | 国民健康保険1 | 加入について |
| 11 | 国民健康保険2 | 保険料助成申し込みについて |
| 12 | アルバイト1 | 資格外活動許可について |
| 13 | アルバイト2 | 履歴書の書き方 |
| 14 | アルバイト3 | アルバイト先で使う日本語 |
| 15 | 銀行1 | 口座の開設 |

| 回 | テ ー マ | 内 容 | | |
|------------------------------------|-----------|--------------------|--------|----------------------------|
| 16 | 銀行 2 | A T Mの使い方 | | |
| 17 | 郵便局 | 手紙や荷物の送り方 不在連絡票 | | |
| 18 | レストラン | 注文と支払い | | |
| 19 | 乗り物の乗り方 1 | 電車 | | |
| 20 | 乗り物の乗り方 2 | バス | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| 『話そう考えよう初級日本事情』（スリー エーネットワーク）など | | 日本事情 | 100.0% | わからない言葉は 家で調べておくこ と。 |

| | | | | |
|------|-----|--------------|---------|-------|
| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
| 読解 I | | 日本語学科1.5年/1年 | 2019/後期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 50分 | 20回 | 0単位(40時間) | 必須 | 田中 敦子 |

授業の概要

本科目では、基本的な初級文型の学習に合わせ、既習した文型を用いた文を読んで理解する。また、初級レベルの語彙や文型で書かれた文学作品に触れる。

授業終了時の到達目標

財団法人日本国際教育支援協会主催の日本語能力試験N4合格をめざす。

| 回 | テーマ | 内容 |
|----|---------------------------|---------------------------|
| 1 | 名詞文 | 『みんなの日本語』 1課～3課を中心とした読解 |
| 2 | 動詞文(ます形) | 『みんなの日本語』 4課～7課を中心とした読解 |
| 3 | 形容詞文 理由「から」 | 『みんなの日本語』 8課～9課を中心とした読解 |
| 4 | 存在文・所在文 助数詞 | 『みんなの日本語』 10課～11課を中心とした読解 |
| 5 | 過去時制 比較文 「たい」「ほしい」 | 『みんなの日本語』 12課～13課を中心とした読解 |
| 6 | 動詞文(て形) | 『みんなの日本語』 14課～16課を中心とした読解 |
| 7 | 動詞文(ない形) | 『みんなの日本語』 17課を中心とした読解 |
| 8 | 動詞文(辞書形) | 『みんなの日本語』 18課を中心とした読解 |
| 9 | 動詞文(た形) | 『みんなの日本語』 19課を中心とした読解 |
| 10 | 動詞文(普通形) | 『みんなの日本語』 20課～22課を中心とした読解 |
| 11 | 文の接続 1 | 『みんなの日本語』 23課～25課を中心とした読解 |
| 12 | 形式名詞「のだ」 動詞文(可能形・可能動詞) | 『みんなの日本語』 26課～28課を中心とした読解 |
| 13 | 自動詞・他動詞 | 『みんなの日本語』 29課～30課を中心とした読解 |
| 14 | 動詞文(意向形) 推量表現 | 『みんなの日本語』 31課～32課を中心とした読解 |
| 15 | 動詞文(命令形・禁止形) 文の接続 2 | 『みんなの日本語』 33課～35課を中心とした読解 |

| 回 | テ ー マ | 内 容 | | |
|---|---------------------------|---------------------------|--------|----------------------------|
| 16 | 目標 動詞文（受身形） 形式名詞「の」 | 『みんなの日本語』 36課～38課を中心とした読解 | | |
| 17 | 文の接続3 授受 | 『みんなの日本語』 39課～41課を中心とした読解 | | |
| 18 | 目的 様態 接続 | 『みんなの日本語』 42課～45課を中心とした読解 | | |
| 19 | 伝聞 動詞文（使役形・使役受身形） | 『みんなの日本語』 46課～48課を中心とした読解 | | |
| 20 | 敬語 | 『みんなの日本語』 49課～50課を中心とした読解 | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| 『みんなの日本語 初級で読めるトピック 25』（スリーエーネットワーク） | | 読解 | 100.0% | わからない言葉は 家で調べておくこ と。 |

| | | | | |
|--------|-----|--------------|---------|-------|
| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
| 文章表現 I | | 日本語学科1.5年/1年 | 2019/後期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 50分 | 20回 | 0単位(40時間) | 必須 | 田中 敦子 |

授業の概要

本科目では、日本語の基本的な文型を用いて、短文を作ったり、トピックに合わせて、モデル文を見ながら自分のことについて記述できる能力を養成する。

授業終了時の到達目標

日本語の基本文型や語彙を用いて、自分のことについて記述できるようになる。

| 回 | テーマ | 内容 |
|----|---------------------------|--|
| 1 | 名詞文 | 『みんなの日本語』 1課～3課を中心とした表記・作文 テーマ「自己紹介」 |
| 2 | 動詞文(ます形) | 『みんなの日本語』 4課～7課を中心とした表記・作文 |
| 3 | 形容詞文 理由「から」 | 『みんなの日本語』 8課～9課を中心とした表記・作文 |
| 4 | 存在文・所在文 助数詞 | 『みんなの日本語』 10課～11課を中心とした表記・作文 テーマ「私の部屋」 |
| 5 | 過去時制 比較文 「たい」・「ほしい」 | 『みんなの日本語』 12課～13課を中心とした表記・作文 テーマ「私の国・町」 |
| 6 | 動詞文(て形) | 『みんなの日本語』 14課～16課を中心とした表記・作文 テーマ「私の家族」 |
| 7 | 動詞文(ない形) | 『みんなの日本語』 17課を中心とした表記・作文 |
| 8 | 動詞文(辞書形) | 『みんなの日本語』 18課を中心とした表記・作文 |
| 9 | 動詞文(た形) | 『みんなの日本語』 19課を中心とした表記・作文 |
| 10 | 動詞文(普通形) | 『みんなの日本語』 20課～22課を中心とした表記・作文 |
| 11 | 文の接続 1 | 『みんなの日本語』 23課～25課を中心とした表記・作文 テーマ「プレゼント」 |
| 12 | 形式名詞「のだ」 動詞文(可能形・可能動詞) | 『みんなの日本語』 26課～28課を中心とした表記・作文 |
| 13 | 自動詞・他動詞 | 『みんなの日本語』 29課～30課を中心とした表記・作文 |
| 14 | 動詞文(意向形) 推量表現 | 『みんなの日本語』 31課～32課を中心とした表記・作文 テーマ「もし私が二人いたら」 |
| 15 | 動詞文(命令形・禁止形) 文の接続 2 | 『みんなの日本語』 33課～35課を中心とした表記・作文 テーマ「趣味」 |

| 回 | テ ー マ | 内 容 | | |
|---|---------------------------|--|--------|----------------------------|
| 16 | 目標 動詞文（受身形） 形式名詞「の」 | 『みんなの日本語』 36課～38課を中心とした表記・作文 | | |
| 17 | 文の接続3 授受 | 『みんなの日本語』 39課～41課を中心とした表記・作文 テーマ「日本でびっくりしたこと」 | | |
| 18 | 目的 様態 逆接 | 『みんなの日本語』 42課～45課を中心とした表記・作文 | | |
| 19 | 伝聞 動詞文（使役形・使役受身形） | 『みんなの日本語』 46課～48課を中心とした表記・作文 テーマ「隣の人にひとこと」 | | |
| 20 | 敬語 | 『みんなの日本語』 49課～50課を中心とした表記・作文 | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| 『みんなの日本語 文型練習帳』（スリー エーネットワーク） 『みんなの日本語 やさしい作文』（ス リーエーネットワーク） | | 文章表現 | 100.0% | わからない言葉は 家で調べておくこ と。 |

| | | | | |
|--------|-----|--------------|---------|-------|
| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
| 口頭表現 I | | 日本語学科1.5年/1年 | 2019/後期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 50分 | 20回 | 0単位(60時間) | 必須 | 安藤 清香 |

授業の概要

本科目では、日本語の単音の発音や単語のアクセント、短文のイントネーションなど口頭技能の基本的なスキルに加え、日常生活の中で出会う場面を中心とした会話能力を養成する。

授業終了時の到達目標

日本語の基本文型を用いて、日常生活でよく出会う場面のやりとりができるようになる。

| 回 | テーマ | 内容 |
|----|---------------------------|---------------------------|
| 1 | 名詞文 | 『みんなの日本語』 1課～3課を中心とした会話 |
| 2 | 動詞文(ます形) | 『みんなの日本語』 4課～7課を中心とした会話 |
| 3 | 形容詞文 理由「から」 | 『みんなの日本語』 8課～9課を中心とした会話 |
| 4 | 存在文・所在文 助数詞 | 『みんなの日本語』 10課～11課を中心とした会話 |
| 5 | 過去時制 比較文 「たい」・「ほしい」 | 『みんなの日本語』 12課～13課を中心とした会話 |
| 6 | 動詞文(て形) | 『みんなの日本語』 14課～16課を中心とした会話 |
| 7 | 動詞文(ない形) | 『みんなの日本語』 17課を中心とした会話 |
| 8 | 動詞文(辞書形) | 『みんなの日本語』 18課を中心とした会話 |
| 9 | 動詞文(た形) | 『みんなの日本語』 19課を中心とした会話 |
| 10 | 動詞文(普通形) | 『みんなの日本語』 20課～22課を中心とした会話 |
| 11 | 文の接続 1 | 『みんなの日本語』 23課～25課を中心とした会話 |
| 12 | 形式名詞「のだ」 動詞文(可能形・可能動詞) | 『みんなの日本語』 26課～28課を中心とした会話 |
| 13 | 自動詞・他動詞 | 『みんなの日本語』 29課～30課を中心とした会話 |
| 14 | 動詞文(意向形) 推量表現 | 『みんなの日本語』 31課～32課を中心とした会話 |
| 15 | 動詞文(命令形・禁止形) 文の接続 2 | 『みんなの日本語』 33課～35課を中心とした会話 |

| 回 | テ ー マ | 内 容 | | |
|---|---------------------------|---------------------------|--------|--------------------|
| 16 | 目標 動詞文（受身形） 形式名詞「の」 | 『みんなの日本語』 36課～38課を中心とした会話 | | |
| 17 | 文の接続3 授受 | 『みんなの日本語』 39課～41課を中心とした会話 | | |
| 18 | 目的 様態 逆接 | 『みんなの日本語』 42課～45課を中心とした会話 | | |
| 19 | 伝聞 動詞文（使役形・使役受身形） | 『みんなの日本語』 46課～48課を中心とした会話 | | |
| 20 | 敬語 | 『みんなの日本語』 49課～50課を中心とした会話 | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| 『みんなの日本語Ⅰ』（スリーエーネットワーク） 『みんなの日本語Ⅱ』（スリーエーネットワーク）『にほんごおしゃべりのたね』（スリーエーネットワーク） | | 口頭表現 | 100.0% | わからない言葉は家で調べておくこと。 |

| | | | | |
|--------|-----|--------------|---------|-------|
| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
| 文字語彙 I | | 日本語学科1.5年/1年 | 2019/後期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 50分 | 20回 | 0単位(80時間) | 必須 | 安藤 清香 |

授業の概要

本科目では、ひらがな、カタカナ、基礎的な漢字約300字を学習する。また、基本文型の学習に合わせ、日常会話で使用頻度の高い語彙約1500語を習得する。

授業終了時の到達目標

ひらがな、カタカナに加え、基礎的な漢字約300字の読み書きができるようになる。
財団法人日本国際教育支援協会主催の日本語能力試験N4合格をめざす。

| 回 | テーマ | 内容 |
|----|---------------------------|-----------------------------|
| 1 | ひらがな・カタカナ | ひらがな・カタカナ |
| 2 | 名詞文 動詞文(ます形) | 『みんなの日本語』1課～7課を中心とした語彙・漢字 |
| 3 | 形容詞文 理由「から」 | 『みんなの日本語』8課～9課を中心とした語彙・漢字 |
| 4 | 存在文・所在文 助数詞 | 『みんなの日本語』10課～11課を中心とした語彙・漢字 |
| 5 | 過去時制 比較文 「たい」・「ほしい」 | 『みんなの日本語』12課～13課を中心とした語彙・漢字 |
| 6 | 動詞文(て形) | 『みんなの日本語』14課～16課を中心とした語彙・漢字 |
| 7 | 動詞文(ない形) | 『みんなの日本語』17課を中心とした語彙・漢字 |
| 8 | 動詞文(辞書形) | 『みんなの日本語』18課を中心とした語彙・漢字 |
| 9 | 動詞文(た形) | 『みんなの日本語』19課を中心とした語彙・漢字 |
| 10 | 動詞文(普通形) | 『みんなの日本語』20課～22課を中心とした語彙・漢字 |
| 11 | 文の接続1 | 『みんなの日本語』23課～25課を中心とした語彙・漢字 |
| 12 | 形式名詞「のだ」 動詞文(可能形・可能動詞) | 『みんなの日本語』26課～28課を中心とした語彙・漢字 |
| 13 | 自動詞・他動詞 | 『みんなの日本語』29課～30課を中心とした語彙・漢字 |
| 14 | 動詞文(意向形) 推量表現 | 『みんなの日本語』31課～32課を中心とした語彙・漢字 |
| 15 | 動詞文(命令形・禁止形) 文の接続2 | 『みんなの日本語』33課～35課を中心とした語彙・漢字 |

| 回 | テ ー マ | 内 容 | | |
|--|---------------------------|------------------------------|--------|--------------------|
| 16 | 目標 動詞文（受身形） 形式名詞「の」 | 『みんなの日本語』 36課～38課を中心とした語彙・漢字 | | |
| 17 | 文の接続3 授受 | 『みんなの日本語』 39課～41課を中心とした語彙・漢字 | | |
| 18 | 目的 様態 逆接 | 『みんなの日本語』 42課～45課を中心とした語彙・漢字 | | |
| 19 | 伝聞 動詞文（使役形・使役受身形） | 『みんなの日本語』 46課～48課を中心とした語彙・漢字 | | |
| 20 | 敬語 | 『みんなの日本語』 49課～50課を中心とした語彙・漢字 | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| 『みんなの日本語 漢字Ⅰ』（スリーエーネットワーク） 『みんなの日本語 漢字Ⅱ』（スリーエーネットワーク） | | 文字・語彙 | 100.0% | わからない言葉は家で調べておくこと。 |

| | | | | |
|------|-----|--------------|---------|-------|
| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
| 聴解 I | | 日本語学科1.5年/1年 | 2019/後期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 50分 | 20回 | 0単位(80時間) | 必須 | 安藤 清香 |

授業の概要

本科目では、日本語の音の聞き分け、短文の聞き取り、また教室や身の回りなど日常生活の中で出会う場面を中心とした会話の聞き取りを行い、聴解能力を養成する。

授業終了時の到達目標

日常生活でよく出会う場面で話される会話の内容や情報が聞き取れるようになる。
財団法人日本国際教育支援協会主催の日本語能力試験N4合格をめざす。

| 回 | テーマ | 内容 |
|----|---------------------------|-------------------------------|
| 1 | 日本語の音 | 日本語の音の聞き取り |
| 2 | 名詞文 動詞文(ます形) | 『みんなの日本語』1課～7課を中心とした会話の聞き取り |
| 3 | 形容詞文 理由「から」 | 『みんなの日本語』8課～9課を中心とした会話の聞き取り |
| 4 | 存在文・所在文 助数詞 | 『みんなの日本語』10課～11課を中心とした会話の聞き取り |
| 5 | 過去時制 比較文 「たい」・「ほしい」 | 『みんなの日本語』12課～13課を中心とした会話の聞き取り |
| 6 | 動詞文(て形) | 『みんなの日本語』14課～16課を中心とした会話の聞き取り |
| 7 | 動詞文(ない形) | 『みんなの日本語』17課を中心とした会話の聞き取り |
| 8 | 動詞文(辞書形) | 『みんなの日本語』18課を中心とした会話の聞き取り |
| 9 | 動詞文(た形) | 『みんなの日本語』19課を中心とした会話の聞き取り |
| 10 | 動詞文(普通形) | 『みんなの日本語』20課～22課を中心とした会話の聞き取り |
| 11 | 文の接続1 | 『みんなの日本語』23課～25課を中心とした会話の聞き取り |
| 12 | 形式名詞「のだ」 動詞文(可能形・可能動詞) | 『みんなの日本語』26課～28課を中心とした会話の聞き取り |
| 13 | 自動詞・他動詞 | 『みんなの日本語』29課～30課を中心とした会話の聞き取り |
| 14 | 動詞文(意向形) 推量表現 | 『みんなの日本語』31課～32課を中心とした会話の聞き取り |
| 15 | 動詞文(命令形・禁止形) 文の接続2 | 『みんなの日本語』33課～35課を中心とした会話の聞き取り |

| 回 | テ ー マ | 内 容 | | |
|--|---------------------------|--------------------------------|--------|--------------------|
| 16 | 目標 動詞文（受身形） 形名各詞「の」 | 『みんなの日本語』 36課～38課を中心とした会話の聞き取り | | |
| 17 | 文の接続3 授受 | 『みんなの日本語』 39課～41課を中心とした会話の聞き取り | | |
| 18 | 目的 様態 送接 | 『みんなの日本語』 42課～45課を中心とした会話の聞き取り | | |
| 19 | 伝聞 動詞文（使役形・使役受身形） | 『みんなの日本語』 46課～48課を中心とした会話の聞き取り | | |
| 20 | 敬語 | 『みんなの日本語』 49課～50課を中心とした会話の聞き取り | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| 『みんなの日本語 聴解タスクⅠ』（スリーエーネットワーク） 『みんなの日本語 聴解タスクⅡ』（スリーエーネットワーク） | | 聴解 | 100.0% | わからない言葉は家で調べておくこと。 |

| | | | | |
|---------|-----|--------------|---------|-------|
| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
| 文型・文法 I | | 日本語学科1.5年/1年 | 2019/後期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 50分 | 20回 | 0単位(80時間) | 必須 | 安藤 清香 |

授業の概要

本科目では、日本語の基本的な構造となる文型を学び、文法の基礎を習得する。

授業終了時の到達目標

財団法人日本国際教育支援協会主催の日本語能力試験N4合格をめざす。

| 回 | テーマ | 内容 |
|----|---------------------------|--|
| 1 | 名詞文 | N1はN2です。 |
| 2 | 動詞文(ます形) | NはAです。Vます。 Vませんか(勧誘) あげます/もらいます |
| 3 | 形容詞文 理由「から」 | い形容詞・な形容詞 から、～ |
| 4 | 存在文・所在文 助数詞 | います/あります |
| 5 | 過去時制 比較文 「たい」・「ほしい」 | Vました・Aかったです・ANでした より・いちばん Vたい・Nがほしい |
| 6 | 動詞文(て形) | Vてください(依頼) Vています(進行・状態) Vてもいいですか(許可) Vてはいけません(禁止) Vて、Vて～・Aくて、～・ANで、～ |
| 7 | 動詞文(ない形) | Vないてください(禁止) Vなければなりません(義務) Vなくてもいいです(許容) |
| 8 | 動詞文(辞書形) | Vことができます(可能・可能性) NはVことです(形式名詞) |
| 9 | 動詞文(た形) | Vたほうがいい(忠告) Vたことがある(経験) Vたり、Vたり |
| 10 | 動詞文(普通形) | 会話体 連体修飾 ～と思います・～と言います |
| 11 | 文の接続1 | 「とき」「と」「たら」「ても」 |
| 12 | 形式名詞「のだ」 動詞文(可能形・可能動詞) | ～んです Vる・られる・できる Vながら、～ ～し、～し |
| 13 | 自動詞・他動詞 | Vている・Vてある(結果の存続) Vておく(準備・放置・措置)・Vてしまう(残念) |
| 14 | 動詞文(意向形) 推量表現 | Vうと思っています・Vつもりです ～でしょう・かもしれません |
| 15 | 動詞文(命令形・禁止形) 文の接続2 | Vろ・Vな Vとおりに Vあとで Vないで、～ 「ば」「なら」 |

| 回 | テ ー マ | 内 容 | | |
|--|---------------------------|---------------------------------|--------|--------------------|
| 16 | 目標 動詞文（受身形） 形式名詞「の」 | Vように Vれる・られる 「の」 | | |
| 17 | 文の接続3 授受 | Vて・Nで（理由） 「ので」 Vてくださる・Vていただく | | |
| 18 | 目的 様態 逆接 | Vために VNそうです・そうに・そうな 「のに」 | | |
| 19 | 伝聞 動詞文（使役形・使役受身形） | Vそうです Vせる・させる | | |
| 20 | 敬語 | 尊敬語・謙讓語・丁寧語 | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| 『みんなの日本語Ⅰ』（スリーエーネットワーク） 『みんなの日本語Ⅱ』（スリーエーネットワーク） | | 文型文法 | 100.0% | わからない言葉は家で調べておくこと。 |

| | | | | |
|------|-----|--------------|---------|-------|
| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
| 読解Ⅱ | | 日本語学科1.5年/2年 | 2019/前期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 50分 | 20回 | 0単位(40時間) | 必須 | 田中 敦子 |

授業の概要

本科目では、基本的なN3文型の学習に合わせ、既習した文型や語彙を用いた文を読んで理解する。また、リライトされた文学作品に触れる。

授業終了時の到達目標

財団法人日本国際教育支援協会主催の日本語能力試験N3合格をめざす。

| 回 | テーマ | 内容 |
|----|---------------------------|----------------------------------|
| 1 | Eメールや電話で頼む | 読解「今度ぜひおしえていただけませんか」 |
| 2 | 理由を言って、許可を求める | 読解「今日は早く帰らせていただけませんか」 |
| 3 | お礼の言葉や感謝の気持ちを言う | 読解「鈴木選手のおかげで、たくさん目標ができました」 |
| 4 | 理由を言って、上手に断る | 読解「『コーヒー、二つアイス』になっていたものですか」 |
| 5 | 情報を整理して、説明する | 読解「湖や海もあれば、高い山もたくさんあります」 |
| 6 | 今の状況や状態について説明する | 読解「『ドーン』という音がして、家がゆれ始めました」 |
| 7 | 聞いた話をきちんと伝える | 読解「男性より女性のほうがたくさん買いに来たとうことです」 |
| 8 | 内容や事情を説明しながら、勧めたり誘ったりする | 読解「テストがあるたびにあわてて勉強をします」 |
| 9 | 自然に会話を進める | 読解「ビールというと、ドイツをはじめ、ヨーロッパが有名です」 |
| 10 | 人物について、描写、説明する | 読解「私はよく男っぽい性格だと言われます」 |
| 11 | 必要な情報を的確に理解する | 読解「定員になり次第、しめきらせていただきます」 |
| 12 | 自分の立場を決定して、意見を言う | 読解「同じ国の友達をたくさん作ったほうがいいと思います」 |
| 13 | 物事の価値をそれぞれの立場で表現する | 読解「私にとって最高の出会いは、マイケル先生に会ったことでした」 |
| 14 | 問題に対してアドバイスする | 読解「おじいさんを安心させたほうがいいと思います」 |
| 15 | 予測の表現を理解し、予報の中の時間帯などを聞き取る | 読解「今日午後3時現在、中部地方を通過中です」 |

| 回 | テ ー マ | 内 容 | | |
|----------------------|-------------------------|--------------------------------|--------|--------------------|
| 16 | 時間と変化を表す表現を理解する | 読解「町の様子は、時代とともに変わっていきます」 | | |
| 17 | その時の状況を説明する | 読解「警察官は私の言葉を聞いたとたん、にっこりと笑いました」 | | |
| 18 | 時間の表現を使って、物事の変化について説明する | 読解「インターネットを一週間にどのぐらい使いますか」 | | |
| 19 | 判断、評価の基準となるものを理解する | 読解「国籍と学習者のニーズに応じてクラス分けをします」 | | |
| 20 | 動作が終わったことを強調して、表現する | 読解「最初のリハビリをやりぬくことができました」 | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| 『学ぼう！にほんご 初中級』専門教育出版 | | 読解 | 100.0% | わからない言葉は家で調べておくこと。 |

| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|---|---------------------------|--------------------------------|---------|-------|
| 文章表現Ⅱ | | 日本語学科1.5年/2年 | 2019/前期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 50分 | 20回 | 0単位(40時間) | 必須 | 田中 敦子 |
| 授業の概要 | | | | |
| 本科目では、N3文型を中心に、モデル文を見ながら、自分のことについて記述できる能力を養成する。 | | | | |
| 授業終了時の到達目標 | | | | |
| 日本語のN3文型や語彙、表現を用いて、自分のことについて記述できるようになる。 | | | | |
| 回 | テーマ | 内容 | | |
| 1 | Eメールや電話で頼む | テーマ「お世話になった日本語学校の先生に依頼のメールを出す」 | | |
| 2 | 理由を言って、許可を求める | テーマ「許可を求める手紙を書く」 | | |
| 3 | お礼の言葉や感謝の気持ちを言う | テーマ「お礼の手紙を書く」 | | |
| 4 | 理由を言って、上手に断る | テーマ「はがきでパーティー欠席の連絡をする」 | | |
| 5 | 情報を整理して、説明する | テーマ「行きたい国、好きな国について調べる」 | | |
| 6 | 今の状況や状態について説明する | テーマ「身の回りの様子を紹介する」 | | |
| 7 | 聞いた話をきちんと伝える | テーマ「最近のニュース」 | | |
| 8 | 内容や事情を説明しながら、勧めたり誘ったりする | テーマ「卒業旅行に誘うメール」 | | |
| 9 | 自然に会話を進める | テーマ「宣伝—私が好きなもの」 | | |
| 10 | 人物について、描写、説明する | テーマ「自己紹介・自己PR」 | | |
| 11 | 必要な情報を的確に理解する | テーマ「お知らせ文」 | | |
| 12 | 自分の立場を決定して、意見を言う | テーマ「私の意見」 | | |
| 13 | 物事の価値をそれぞれの立場で表現する | テーマ「私の大切なもの」 | | |
| 14 | 問題に対してアドバイスする | テーマ「勉強方法をアドバイスする」 | | |
| 15 | 予測の表現を理解し、予報の中の時間帯などを聞き取る | テーマ「将来を予測する」 | | |

| 回 | テ ー マ | 内 容 | | |
|----|-------------------------|-------------------|--------|--------------------|
| 16 | 時間と変化を表す表現を理解する | テーマ「プロフィール」 | | |
| 17 | その時の状況を説明する | テーマ「私の失敗談」 | | |
| 18 | 時間の表現を使って、物事の変化について説明する | テーマ「私の国の最近の話題」 | | |
| 19 | 判断、評価の基準となるものを理解する | テーマ「映画の宣伝文」 | | |
| 20 | 動作が終わったことを強調して、表現する | テーマ「理解しがたい他の人の行動」 | | |
| | 教科書・教材 | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| | 『学ぼう！にほんご 初中級』 専門教育出版 | 文章表現 | 100.0% | わからない言葉は家で調べておくこと。 |

| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|---|---------------------------|-----------------------------|---------|-------|
| 口頭表現Ⅱ | | 日本語学科1.5年/2年 | 2019/前期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | | 担当教員 |
| 50分 | 20回 | 0単位(60時間) | 必須 | 安藤 清香 |
| 授業の概要 | | | | |
| 本科目では、日常生活の中で出会う場面を中心とした会話能力を養成する。 | | | | |
| 授業終了時の到達目標 | | | | |
| 日本語のN3文型や表現を用いて、日常生活でよく出会う場面のやりとりができるようになる。 | | | | |
| 回 | テーマ | 内容 | | |
| 1 | Eメールや電話で頼む | 『学ぼう! にほんご 初中級』 1課を中心とした会話 | | |
| 2 | 理由を言って、許可を求める | 『学ぼう! にほんご 初中級』 2課を中心とした会話 | | |
| 3 | お礼の言葉や感謝の気持ちを言う | 『学ぼう! にほんご 初中級』 3課を中心とした会話 | | |
| 4 | 理由を言って、上手に断る | 『学ぼう! にほんご 初中級』 4課を中心とした会話 | | |
| 5 | 情報を整理して、説明する | 『学ぼう! にほんご 初中級』 5課を中心とした会話 | | |
| 6 | 今の状況や状態について説明する | 『学ぼう! にほんご 初中級』 6課を中心とした会話 | | |
| 7 | 聞いた話をきちんと伝える | 『学ぼう! にほんご 初中級』 7課を中心とした会話 | | |
| 8 | 内容や事情を説明しながら、勧めたり誘ったりする | 『学ぼう! にほんご 初中級』 8課を中心とした会話 | | |
| 9 | 自然に会話を進める | 『学ぼう! にほんご 初中級』 9課を中心とした会話 | | |
| 10 | 人物について、描写、説明する | 『学ぼう! にほんご 初中級』 10課を中心とした会話 | | |
| 11 | 必要な情報を的確に理解する | 『学ぼう! にほんご 初中級』 11課を中心とした会話 | | |
| 12 | 自分の立場を決定して、意見を言う | 『学ぼう! にほんご 初中級』 12課を中心とした会話 | | |
| 13 | 物事の価値をそれぞれの立場で表現する | 『学ぼう! にほんご 初中級』 13課を中心とした会話 | | |
| 14 | 問題に対してアドバイスする | 『学ぼう! にほんご 初中級』 14課を中心とした会話 | | |
| 15 | 予測の表現を理解し、予報の中の時間帯などを聞き取る | 『学ぼう! にほんご 初中級』 15課を中心とした会話 | | |

| 回 | テ ー マ | 内 容 | | |
|-----------------------|-------------------------|---------------------------|--------|--------------------|
| 16 | 時間と変化を表す表現を理解する | 『学ぼう！にほんご 初中級』16課を中心とした会話 | | |
| 17 | その時の状況を説明する | 『学ぼう！にほんご 初中級』17課を中心とした会話 | | |
| 18 | 時間の表現を使って、物事の変化について説明する | 『学ぼう！にほんご 初中級』18課を中心とした会話 | | |
| 19 | 判断、評価の基準となるものを理解する | 『学ぼう！にほんご 初中級』19課を中心とした会話 | | |
| 20 | 動作が終わったことを強調して、表現する | 『学ぼう！にほんご 初中級』20課を中心とした会話 | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| 『学ぼう！にほんご 初中級』 専門教育出版 | | 口頭表現 | 100.0% | わからない言葉は家で調べておくこと。 |

| | | | | |
|-------|-----|--------------|---------|-------|
| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
| 文字語彙Ⅱ | | 日本語学科1.5年/2年 | 2019/前期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 50分 | 20回 | 0単位(80時間) | 必須 | 安藤 清香 |

授業の概要

本科目では、N3レベルで必要となる漢字約800字を学習する。また、基本文型の学習に合わせ、日常会話で使用頻度の高い語彙約4000語を習得する。

授業終了時の到達目標

基礎的な漢字約800字の読み書きができるようになる。
財団法人日本国際教育支援協会主催の日本語能力試験N3合格をめざす。

| 回 | テーマ | 内容 |
|----|---------------------------|--------------------------------|
| 1 | Eメールや電話で頼む | 『学ぼう! にほんご 初中級』 1課を中心とした語彙・漢字 |
| 2 | 理由を言って、許可を求める | 『学ぼう! にほんご 初中級』 2課を中心とした語彙・漢字 |
| 3 | お礼の言葉や感謝の気持ちを言う | 『学ぼう! にほんご 初中級』 3課を中心とした語彙・漢字 |
| 4 | 理由を言って、上手に断る | 『学ぼう! にほんご 初中級』 4課を中心とした語彙・漢字 |
| 5 | 情報を整理して、説明する | 『学ぼう! にほんご 初中級』 5課を中心とした語彙・漢字 |
| 6 | 今の状況や状態について説明する | 『学ぼう! にほんご 初中級』 6課を中心とした語彙・漢字 |
| 7 | 聞いた話をきちんと伝える | 『学ぼう! にほんご 初中級』 7課を中心とした語彙・漢字 |
| 8 | 内容や事情を説明しながら、勧めたり誘ったりする | 『学ぼう! にほんご 初中級』 8課を中心とした語彙・漢字 |
| 9 | 自然に会話を進める | 『学ぼう! にほんご 初中級』 9課を中心とした語彙・漢字 |
| 10 | 人物について、描写、説明する | 『学ぼう! にほんご 初中級』 10課を中心とした語彙・漢字 |
| 11 | 必要な情報を的確に理解する | 『学ぼう! にほんご 初中級』 11課を中心とした語彙・漢字 |
| 12 | 自分の立場を決定して、意見を言う | 『学ぼう! にほんご 初中級』 12課を中心とした語彙・漢字 |
| 13 | 物事の価値をそれぞれの立場で表現する | 『学ぼう! にほんご 初中級』 13課を中心とした語彙・漢字 |
| 14 | 問題に対してアドバイスする | 『学ぼう! にほんご 初中級』 14課を中心とした語彙・漢字 |
| 15 | 予測の表現を理解し、予報の中の時間帯などを聞き取る | 『学ぼう! にほんご 初中級』 15課を中心とした語彙・漢字 |

| 回 | テ ー マ | 内 容 | | |
|-----------------------|-------------------------|----------------|-------------------|---------------------------|
| 16 | 時間と変化を表す表現を理解する | 『学ぼう！にほんご 字 | 初中級』16課を中心とした語彙・漢 | |
| 17 | その時の状況を説明する | 『学ぼう！にほんご 字 | 初中級』17課を中心とした語彙・漢 | |
| 18 | 時間の表現を使って、物事の変化について説明する | 『学ぼう！にほんご 字 | 初中級』18課を中心とした語彙・漢 | |
| 19 | 判断、評価の基準となるものを理解する | 『学ぼう！にほんご 字 | 初中級』19課を中心とした語彙・漢 | |
| 20 | 動作が終わったことを強調して、表現する | 『学ぼう！にほんご 字 | 初中級』20課を中心とした語彙・漢 | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | | 評価率 |
| 『学ぼう！にほんご 初中級』 専門教育出版 | | 文字・語彙 | | 100.0% |
| | | | | その他 わからない言葉は家で調べておくこと。 |

| | | | | |
|------|-----|--------------|---------|-------|
| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
| 聴解Ⅱ | | 日本語学科1.5年/2年 | 2019/前期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 50分 | 20回 | 0単位(80時間) | 必須 | 安藤 清香 |

授業の概要

本科目では、日常生活の中で出会う場面を中心とした会話の聞き取りを行い、聴解能力を養成する。

授業終了時の到達目標

日常生活でよく出会う場面で話される会話の内容や情報が聞き取れるようになる。
財団法人日本国際教育支援協会主催の日本語能力試験N3合格をめざす。

| 回 | テーマ | 内容 |
|----|---|----------|
| 1 | 貸してもらうように頼む 貸すのを断る | 貸してもらう |
| 2 | 予定の変更を頼む できなくなった理由を説明する | 予定を変更する |
| 3 | 質問する 相手の間違いを指摘する | レストランで |
| 4 | 感想を述べる うらやむ | 旅行の感想 |
| 5 | 人に何かを勧める 相手の意見を聞いて何にするか決める 勧めを断る | 買い物 |
| 6 | 新しい話題を始める 自分の希望を述べる | アルバイトを探す |
| 7 | ほめる ほめに応える | ほめられて |
| 8 | どちらがいいかアドバイスを求める どちらがいいかアドバイスを 条件を述べる | 交通手段 |
| 9 | 申し出る 相手の希望をたずねる | ゆずる |
| 10 | 苦情を言う 規則を説明する | マンション |
| 11 | 名乗る 人を紹介する 相手について知っていることを述べ | 出会い |
| 12 | これから質問をする時の前置き あるかどうか、できるかどうか、たずねる | ホテルで |
| 13 | 聞いた話を切り出す 相手からの情報に反応する | うわさ |
| 14 | 能力について述べる 申しでる | 機械のトラブル |
| 15 | 自分の失敗を他の人に伝える 悪い結果を心配していることを伝える | 失敗 |

| 回 | テ ー マ | 内 容 | | |
|--|---|--------|--------|----------------------------|
| 16 | 要件を伝える 伝言をする | 電話をかける | | |
| 17 | 相手にいいと思うことを教える 自分の体の状態の変化について話す | 健康のために | | |
| 18 | 情報が確かかどうかたずねる 確信はないが可能性があるという 自分の責任を回避するために和らげ ていう | 駅で | | |
| 19 | 誘う 誘いに興味を示す 誘いにあまり興味がないことを示す | 趣味 | | |
| 20 | 抱負を述べる はげます・応援する | 抱負 | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| 『聞いて覚える話し方日本語生中継初中級 編Ⅰ』（くろしお出版） 『聞いて覚える話し方日本語生中継初中級 編Ⅱ』（くろしお出版） | | 聴解 | 100.0% | わからない言葉は 家で調べておくこ と。 |

| | | | | |
|--------|-----|--------------|---------|-------|
| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
| 文型・文法Ⅱ | | 日本語学科1.5年/2年 | 2019/前期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | Ⅱ | 担当教員 |
| 50分 | 20回 | 0単位(80時間) | 必須 | 安藤 清香 |

授業の概要

本科目では、日常的な場面で遭遇する情報や話題を理解するのに必要なN3文型を身に付ける。

授業終了時の到達目標

財団法人日本国際教育支援協会主催の日本語能力試験N3合格をめざす。

| 回 | テーマ | 内容 |
|----|---------------------------|---|
| 1 | Eメールや電話で頼む | ところだ・について・くれませんか |
| 2 | 理由を言って、許可を求める | 気味・うちに・ないうちに・てもいいですか |
| 3 | お礼の言葉や感謝の気持ちを言う | おかげで・ように・てくれてありがとうございました |
| 4 | 理由を言って、上手に断る | ものだから・わけにはいかない・ないわけにはいかない 最中・たくありません |
| 5 | 情報を整理して、説明する | に比べて・～も…ば、～も・～も…なら、～も AよりBのほうが～ |
| 6 | 今の状況や状態について説明する | だらけ・かけ・～がする・～がいる・～がある |
| 7 | 聞いた話をきちんと伝える | ～によると・～ということだ・そうだ |
| 8 | 内容や事情を説明しながら、勧めたり誘ったりする | くらい・ほど・たびに・がる・ませんか |
| 9 | 自然に会話を進める | ～をはじめ・というと・といえば・～なら |
| 10 | 人物について、描写、説明する | っぽい・うえに・わけがない・ようだ・そうです |
| 11 | 必要な情報を的確に理解する | ことになっている・ということになっている 次第・において・ことになった・になった |
| 12 | 自分の立場を決定して、意見を言う | としては・としても・たとえ～ても・と思います |
| 13 | 物事の価値をそれぞれの立場で表現する | にとって・に対して・さえ…ば・まい・が好きです・嫌いです |
| 14 | 問題に対してアドバイスする | ことはない・しかない・かわらいに・にかわって・ほうが いい |
| 15 | 予測の表現を理解し、予報の中の時間帯などを聞き取る | から～にかけて・おそれがある・がちだ・はずだ |

| 回 | テ ー マ | 内 容 | | |
|-----------------------|-------------------------|------------------------------------|--------|--------------------|
| 16 | 時間と変化を表す表現を理解する | て以来・とともに・に伴って・てきた | | |
| 17 | その時の状況を説明する | せいで・ばかりに・ところへ・ところに・ところを・たとたん・てしまった | | |
| 18 | 時間の表現を使って、物事の変化について説明する | につれて・にしがって・一方だ・くなる・になる | | |
| 19 | 判断、評価の基準となるものを理解する | をもとに・を中心に・に応じて・は問わず・の中で・の中から | | |
| 20 | 動作が終わったことを強調して、表現する | きる・ぬく・がたい・始める・終わる | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| 『学ぼう！にほんご 初中級』 専門教育出版 | | 文型文法 | 100.0% | わからない言葉は家で調べておくこと。 |

| | | | | |
|------|-----|--------------|---------|------|
| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
| 演習 I | | 日本語学科1.5年/2年 | 2019/後期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 50分 | 10回 | 0単位(20時間) | 必須 | 佐藤 優 |

授業の概要

本科では、日本の社会と母国との違いを理解しながら、「読む」「聞く」「書く」「話す」といった総合的な日本語運用能力を養成する。

授業終了時の到達目標

日本語力の養成とともに、活動を通して、各自、母国との違いを認識する。

| 回 | テーマ | 内容 |
|----|-------|------------------|
| 1 | 「私の国」 | 情報収集(現状把握: 読み物) |
| 2 | 「私の国」 | 情報収集(現状把握: 資料収集) |
| 3 | 「私の国」 | 分析・考察 |
| 4 | 「私の国」 | 原稿(PPT)作成 |
| 5 | 「私の国」 | 研究発表「私の国」 |
| 6 | | |
| 7 | | |
| 8 | | |
| 9 | | |
| 10 | | |
| 11 | | |
| 12 | | |
| 13 | | |
| 14 | | |
| 15 | | |

| 回 | テ ー マ | 内 容 | | |
|----|-----------------------|-----------|--------|--------------------|
| 16 | | | | |
| 17 | | | | |
| 18 | | | | |
| 19 | | | | |
| 20 | | | | |
| | 教科書・教材 | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| | 『学ぼう！にほんご 中級』（専門教育出版） | プレゼンテーション | 100.0% | わからない言葉は家で調べておくこと。 |

| | | | | |
|-------|-----|--------------|---------|------|
| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
| 日本事情Ⅱ | | 日本語学科1.5年/2年 | 2019/後期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 50分 | 10回 | 0単位(20時間) | 必須 | 佐藤 優 |

授業の概要

本科目では、日本に関する基礎的な知識や文化について、動画やイラスト、読み物を使いながら、理解を深める。

授業終了時の到達目標

留学生活において、日本に関する基礎的な知識や文化について身に付ける。

| 回 | テーマ | 内容 |
|----|-----|-------------|
| 1 | 国土 | 日本の国土 地域 |
| 2 | 人口 | 人口 労働力人口 |
| 3 | 気候 | 気候 |
| 4 | 防災1 | 災害について |
| 5 | 防災2 | 避難訓練 |
| 6 | 社会1 | 衣服 |
| 7 | 社会2 | 食物 |
| 8 | 社会3 | 住居 |
| 9 | 社会4 | 出生率と平均寿命 |
| 10 | 社会5 | 結婚と離婚 |
| 11 | | |
| 12 | | |
| 13 | | |
| 14 | | |
| 15 | | |

| 回 | テ ー マ | 内 容 | | |
|----|------------------------------------|----------|--------|----------------------------|
| 16 | | | | |
| 17 | | | | |
| 18 | | | | |
| 19 | | | | |
| 20 | | | | |
| | 教科書・教材 | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| | 『話そう考えよう初級日本事情』（スリー エーネットワーク）など | 日本事情（筆記） | 100.0% | わからない言葉は 家で調べておくこ と。 |

| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|--|----------------------------|------------------------------------|---------|------|
| 読解Ⅲ | | 日本語学科1.5年/2年 | 2019/後期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 50分 | 20回 | 0単位(60時間) | 必須 | 佐藤 優 |
| 授業の概要 | | | | |
| 本科目では、幅広い話題について書かれた新聞や雑誌の記事、解説、平易な評論など、論旨が明快な文章を読んで理解できる能力を養成する。 | | | | |
| 授業終了時の到達目標 | | | | |
| 財団法人日本国際教育支援協会主催の日本語能力試験N2合格をめざす。 | | | | |
| 回 | テーマ | 内容 | | |
| 1 | 感激したことや驚いたことを表現する | 読解「なんともったいないことか」 | | |
| 2 | 意志や決心を表現する | 読解「コースを走る上で、ポイントになるのはどんなところですか」 | | |
| 3 | 衝動を表現する | 読解「日本食が恋しくてならなかった」 | | |
| 4 | 結果の元となった理由を理解する | 読解「収入の面から言うと、OLをしていたときよりも苦しいです」 | | |
| 5 | 「できない」ことを表現する | 読解「あやめようか続けようか決めかねていました」 | | |
| 6 | 物事の対象をはっきりと示す | 読解「目の不自由な人や盲導犬に関する法律が改正されました」 | | |
| 7 | 出来事の途中の様子を表す | 読解「どこかへ行ったきり、帰って来なくなってしまいました」 | | |
| 8 | 同時に起こっているように見えるという気持ちを表現する | 読解「昔から愛されてきた味を残しつつ、あたらしい物も作られています」 | | |
| 9 | 物事を順番に説明する | 読解「絶対に欲しい物は自分の手に取って確かめてからでないと買わない」 | | |
| 10 | 場面や時点を表す表現を理解する | 読解「何か月にもわたってあわただしく過ごすことになってしまうのです」 | | |
| 11 | 物事をどの立場から考えているか理解する | 読解「不合格だったにしては、意外とあっさりしていることもよくある」 | | |
| 12 | 物事を部分的に否定する | 読解「東京でも野菜を作れないことはないですよ」 | | |
| 13 | 逆接を表現する | 読解「残念ながら最初はほとんどの人に信じてもらえない」 | | |
| 14 | 条件を仮定して、結果を述べる | 読解「料理の盛り付けにかけては、現在日本で最も高い評価を得ている」 | | |
| 15 | 「否定はできない」という気持ちを表現する | 読解「予想しない効果が現れてしまうことがあり得るのだ」 | | |

| 回 | テ ー マ | 内 容 | | |
|-----------------------|-------------------|--------------------------------------|--------|--------------------|
| 16 | 人にうまく注意や忠告する | 読解「わからないので教えてくださいと言うべきなのである」 | | |
| 17 | 間違いないと思われる物事を断定する | 読解「水面から上に見えている部分は、全体のわずか10%にすぎない」 | | |
| 18 | 例を挙げる表現 | 読解「知っている単語の数や文法はともかく、一番の違いは会話のスピードだ」 | | |
| 19 | 対照的な物事を説明する | 読解「お知らせどころか、個人の大事な情報でさえ簡単に見られてします。」 | | |
| 20 | 物事を限定する（しない）表現 | 読解「分かり合おうとしない限りは、「新しい国」を作ることにはできない」 | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| 『学ぼう！にほんご 中級』（専門教育出版） | | 読解 | 100.0% | わからない言葉は家で調べておくこと。 |

| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|--|----------------------------|-------------------------------|---------|------|
| 文章表現Ⅲ | | 日本語学科1.5年/2年 | 2019/後期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 50分 | 20回 | 0単位(60時間) | 必須 | 佐藤 優 |
| 授業の概要 | | | | |
| 本科目では、モデル文を見ることなく、自分自身で構成を考えて、自身のことや意見を論述できる能力を養成する。 | | | | |
| 授業終了時の到達目標 | | | | |
| 自分自身で構成を考えて、自身のことや意見を論述できるようになる。 | | | | |
| 回 | テーマ | 内容 | | |
| 1 | 感激したことや驚いたことを表現する | テーマ「あなたの周りのすごいこと、すごい人」 | | |
| 2 | 意志や決心を表現する | テーマ「意見文」 | | |
| 3 | 衝動を表現する | テーマ「がまんできずについしてしまった経験」 | | |
| 4 | 結果の元となった理由を理解する | テーマ「私が〇〇を始めたきっかけ」 | | |
| 5 | 「できない」ことを表現する | テーマ「〇〇せざるを得なかった経験」 | | |
| 6 | 物事の対象をはっきりと示す | テーマ「私の国の社会問題」 | | |
| 7 | 出来事の途中の様子を表す | テーマ「卒業したきり、会っていない人」 | | |
| 8 | 同時に起こっているように見えるという気持ちを表現する | テーマ「ついでに〇〇してくれるサービス」 | | |
| 9 | 物事を順番に説明する | テーマ「意見文」 | | |
| 10 | 場面や時点を表す表現を理解する | テーマ「〇〇に先立って、準備しておかなければならないこと」 | | |
| 11 | 物事をどの立場から考えているか理解する | テーマ「〇〇のわりに…」 | | |
| 12 | 物事を部分的に否定する | テーマ「嫌いではないが、苦手なこと」 | | |
| 13 | 逆接を表現する | テーマ「意見文」 | | |
| 14 | 条件を仮定して、結果を述べる | テーマ「無人島に3つだけ持って行けるとしたら」 | | |
| 15 | 「否定はできない」という気持ちを表現する | テーマ「現在の開発」 | | |

| 回 | テーマ | 内 容 | | |
|-----------------------|-------------------|------------------------|--------|--------------------|
| 16 | 人にうまく注意や忠告する | テーマ「アドバイス」 | | |
| 17 | 間違いないと思われる物事を断定する | テーマ「意見文」 | | |
| 18 | 例を挙げる表現 | テーマ「人生はお金さえあれば幸せになれるか」 | | |
| 19 | 対照的な物事を説明する | テーマ「私の長所、私の短所」 | | |
| 20 | 物事を限定する（しない）表現 | テーマ「職業による性差」 | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| 『学ぼう！にほんご 中級』（専門教育出版） | | 作文 | 100.0% | わからない言葉は家で調べておくこと。 |

| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|--|----------------------------|--------------------------|---------|------|
| 口頭表現Ⅲ | | 日本語学科1.5年/2年 | 2019/後期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | | 担当教員 |
| 50分 | 20回 | 0単位(60時間) | 必須 | 辻 暁子 |
| 授業の概要 | | | | |
| 本科目では、自分自身で構成を考えて、自身のことや意見をまとめた段落で口頭で表現できる能力を養成する。 | | | | |
| 授業終了時の到達目標 | | | | |
| 自分自身で構成を考えて、自身のことや意見をまとめた段落で口頭で表現できるようになる。 | | | | |
| 回 | テーマ | 内容 | | |
| 1 | 感激したことや驚いたことを表現する | 『学ぼう! にほんご中級』21課を中心とした会話 | | |
| 2 | 意志や決心を表現する | 『学ぼう! にほんご中級』22課を中心とした会話 | | |
| 3 | 衝動を表現する | 『学ぼう! にほんご中級』23課を中心とした会話 | | |
| 4 | 結果の元となった理由を理解する | 『学ぼう! にほんご中級』24課を中心とした会話 | | |
| 5 | 「できない」ことを表現する | 『学ぼう! にほんご中級』25課を中心とした会話 | | |
| 6 | 物事の対象をはっきりと示す | 『学ぼう! にほんご中級』26課を中心とした会話 | | |
| 7 | 出来事の途中の様子を表す | 『学ぼう! にほんご中級』27課を中心とした会話 | | |
| 8 | 同時に起こっているように見えるという気持ちを表現する | 『学ぼう! にほんご中級』28課を中心とした会話 | | |
| 9 | 物事を順番に説明する | 『学ぼう! にほんご中級』29課を中心とした会話 | | |
| 10 | 場面や時点を表す表現を理解する | 『学ぼう! にほんご中級』30課を中心とした会話 | | |
| 11 | 物事をどの立場から考えているか理解する | 『学ぼう! にほんご中級』31課を中心とした会話 | | |
| 12 | 物事を部分的に否定する | 『学ぼう! にほんご中級』32課を中心とした会話 | | |
| 13 | 逆接を表現する | 『学ぼう! にほんご中級』33課を中心とした会話 | | |
| 14 | 条件を仮定して、結果を述べる | 『学ぼう! にほんご中級』34課を中心とした会話 | | |
| 15 | 「否定はできない」という気持ちを表現する | 『学ぼう! にほんご中級』35課を中心とした会話 | | |

| 回 | テ ー マ | 内 容 | | |
|-----------------------|--------------------|--------------------------|--------|--------------------|
| 16 | 人にうまく注意や忠告する | 『学ぼう！にほんご 中級』36課を中心とした会話 | | |
| 17 | 間違いがないと思われる物事を断定する | 『学ぼう！にほんご 中級』37課を中心とした会話 | | |
| 18 | 例を挙げる表現 | 『学ぼう！にほんご 中級』38課を中心とした会話 | | |
| 19 | 対照的な物事を説明する | 『学ぼう！にほんご 中級』39課を中心とした会話 | | |
| 20 | 物事を限定する（しない）表現 | 『学ぼう！にほんご 中級』40課を中心とした会話 | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| 『学ぼう！にほんご 中級』（専門教育出版） | | 口頭発表 | 100.0% | わからない言葉は家で調べておくこと。 |

| | | | | |
|-------|-----|--------------|---------|------|
| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
| 文字語彙Ⅲ | | 日本語学科1.5年/2年 | 2019/後期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 50分 | 20回 | 0単位(60時間) | 必須 | 辻 暁子 |

授業の概要

本科目では、常用漢字約1000字を学習する。また、N2文型の学習に合わせ、語彙約6000語を習得する。

授業終了時の到達目標

財団法人日本国際教育支援協会主催の日本語能力試験N2合格をめざす。

| 回 | テーマ | 内容 |
|----|----------------------------|-----------------------------|
| 1 | 感激したことや驚いたことを表現する | 『学ぼう! にほんご中級』21課を中心とした語彙・漢字 |
| 2 | 意志や決心を表現する | 『学ぼう! にほんご中級』22課を中心とした語彙・漢字 |
| 3 | 衝動を表現する | 『学ぼう! にほんご中級』23課を中心とした語彙・漢字 |
| 4 | 結果の元となった理由を理解する | 『学ぼう! にほんご中級』24課を中心とした語彙・漢字 |
| 5 | 「できない」ことを表現する | 『学ぼう! にほんご中級』25課を中心とした語彙・漢字 |
| 6 | 物事の対象をはっきりと示す | 『学ぼう! にほんご中級』26課を中心とした語彙・漢字 |
| 7 | 出来事の途中の様子を表す | 『学ぼう! にほんご中級』27課を中心とした語彙・漢字 |
| 8 | 同時に起こっているように見えるという気持ちを表現する | 『学ぼう! にほんご中級』28課を中心とした語彙・漢字 |
| 9 | 物事を順番に説明する | 『学ぼう! にほんご中級』29課を中心とした語彙・漢字 |
| 10 | 場面や時点を表す表現を理解する | 『学ぼう! にほんご中級』30課を中心とした語彙・漢字 |
| 11 | 物事をどの立場から考えているか理解する | 『学ぼう! にほんご中級』31課を中心とした語彙・漢字 |
| 12 | 物事を部分的に否定する | 『学ぼう! にほんご中級』32課を中心とした語彙・漢字 |
| 13 | 逆接を表現する | 『学ぼう! にほんご中級』33課を中心とした語彙・漢字 |
| 14 | 条件を仮定して、結果を述べる | 『学ぼう! にほんご中級』34課を中心とした語彙・漢字 |
| 15 | 「否定はできない」という気持ちを表現する | 『学ぼう! にほんご中級』35課を中心とした語彙・漢字 |

| 回 | テーマ | 内 容 | | |
|-----------------------|-------------------|-----------------------------|--------|--------------------|
| 16 | 人にうまく注意や忠告する | 『学ぼう！にほんご 中級』36課を中心とした語彙・漢字 | | |
| 17 | 間違いないと思われる物事を断定する | 『学ぼう！にほんご 中級』37課を中心とした語彙・漢字 | | |
| 18 | 例を挙げる表現 | 『学ぼう！にほんご 中級』38課を中心とした語彙・漢字 | | |
| 19 | 対照的な物事を説明する | 『学ぼう！にほんご 中級』39課を中心とした語彙・漢字 | | |
| 20 | 物事を限定する（しない）表現 | 『学ぼう！にほんご 中級』40課を中心とした語彙・漢字 | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| 『学ぼう！にほんご 中級』（専門教育出版） | | 文字・語彙 | 100.0% | わからない言葉は家で調べておくこと。 |

| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
|---|-----|---------------------------------|---------|------|
| 聴解Ⅲ | | 日本語学科1.5年/2年 | 2019/後期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | 必須・選択 | 担当教員 |
| 50分 | 20回 | 0単位(60時間) | 必須 | 辻 暁子 |
| 授業の概要 | | | | |
| 本科では、日常的な場面で、やや自然に近いスピードのまとまりのある会話を聞いて、話の具体的な内容を理解できる能力を養成する。 | | | | |
| 授業終了時の到達目標 | | | | |
| 財団法人日本国際教育支援協会主催の日本語能力試験N2合格をめざす。 | | | | |
| 回 | テーマ | 内 容 | | |
| 1 | 伝言 | 伝言を頼む 伝言を申す出る | | |
| 2 | 電話 | 電話をかけることを申し出る | | |
| 3 | 勧誘 | 誘う 誘いを受ける | | |
| 4 | 勧誘 | 誘いを断る 返事を保留する | | |
| 5 | 許可 | 許可を求める 許可を与える | | |
| 6 | 許可 | 許可しない | | |
| 7 | 制限 | 制限を述べる | | |
| 8 | 情報 | 他から得た情報を伝える 自分で判断したことを伝える | | |
| 9 | 情報 | 情報が不確かであることを示す 情報が確かであることを示す | | |
| 10 | 依頼 | 依頼する 依頼を受ける | | |
| 11 | 依頼 | 依頼を断る 依頼をあきらめる | | |
| 12 | 指示 | 指示する | | |
| 13 | 文句 | 文句を言う 謝る | | |
| 14 | 言い訳 | 言い訳する | | |
| 15 | 要求 | 行為を要求する | | |

| 回 | テ ー マ | 内 容 | | |
|-------------------------------------|-------|---|--------|----------------------------|
| 16 | 提案 | 提案を述べる 提案に賛成する | | |
| 17 | 提案 | 提案に反対する | | |
| 18 | 感想 | 状況について満足していることを述べる 自分がしたことについて満足していることを述べる | | |
| 19 | 感想 | 不満を述べる | | |
| 20 | 感想 | 後悔していることを伝える | | |
| 教科書・教材 | | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| 『聞いて覚える話し方日本語生中継 中～ 上級編』（くろしお出版） | | 聴解 | 100.0% | わからない言葉は 家で調べておくこ と。 |

| | | | | |
|--------|-----|--------------|---------|------|
| 科目名 | | 学科/学年 | 年度/時期 | 授業形態 |
| 文型・文法Ⅲ | | 日本語学科1.5年/2年 | 2019/後期 | 講義 |
| 授業時間 | 回数 | 単位数(時間数) | Ⅱ | 担当教員 |
| 50分 | 20回 | 0単位(60時間) | 必須 | 辻 暁子 |

授業の概要

本科目では、約180のN2文型や表現を学び、運用できる能力を養成する。

bu

財団法人日本国際教育支援協会主催の日本語能力試験N2合格をめざす。

| 回 | テーマ | 内容 |
|----|----------------------------|--|
| 1 | 感激したことや驚いたことを表現する | こそ・ことか・くらい・ほど |
| 2 | 意志や決心を表現する | 上で・以上・からには・ことなく・まい |
| 3 | 衝動を表現する | てならない・ないではいられない・ずにはいられない・てしょうがない・てしかたがない・てたまらない・わけにはいかない |
| 4 | 結果の元となった理由を理解する | ことから・を通じて・をきっかけにして・からいうと・せいで |
| 5 | 「できない」ことを表現する | ざるを得ない・かねる・ようがない・あまり・がたい |
| 6 | 物事の対象をはっきりと示す | とおりに・通りに・に関して・に基づいて・をめぐって・について |
| 7 | 出来事の途中の様子を表す | きり・ところ・つつある・末に・ところです |
| 8 | 同時に起こっているように見えるという気持ちを表現する | か～かのうちに・ついでに・つつ・かと思うと・うちに(ないうちに) |
| 9 | 物事を順番に説明する | からでないと・にしろ・ことには・次第 |
| 10 | 場面や時点を表す表現を理解する | に先立って・に際して・にあたって・にわたって・ことになっている |
| 11 | 物事をどの立場から考えているか理解する | にしたら・わりに・にしては・にとっては |
| 12 | 物事を部分的に否定する | というよりも・ないことはない・わけではない・どころではない・ことはない |
| 13 | 逆接を表現する | ながら・といっても・ものの・からといって・たら・ても |
| 14 | 条件を仮定して、結果を述べる | にかけては・ものなら・としたら・とすれば・さえ～ば |
| 15 | 「否定はできない」という気持ちを表現する | かのような・ことだから・かねない・得る・おそれがある |

| 回 | テ ー マ | 内 容 | | |
|----|-----------------------|--------------------------------|--------|--------------------|
| 16 | 人にうまく注意や忠告する | ものだ・べきだ・ことだ・というものだ・てはならない | | |
| 17 | 間違いなしと思われる物事を断定する | にすぎない・ほかならない・にちがいない・ほかない・と思われる | | |
| 18 | 例を挙げる表現 | はともかく・からして・ばかりか・さえ・をはじめ | | |
| 19 | 対照的な物事を説明する | 一方で・反面・に反して・どころか・に対して | | |
| 20 | 物事を限定する（しない）表現 | に関わらず・に限って・のみならず・限りは・を問わず | | |
| | 教科書・教材 | 評価基準 | 評価率 | その他 |
| | 『学ぼう！にほんご 中級』（専門教育出版） | 文型文法 | 100.0% | わからない言葉は家で調べておくこと。 |